

今日のトピック 堅調地合いが続くブラジル株式市場 ボルソナロ次期大統領の閣僚人事などを好感

ポイント1 11月も株式市場は堅調 通貨レアルは小幅反落

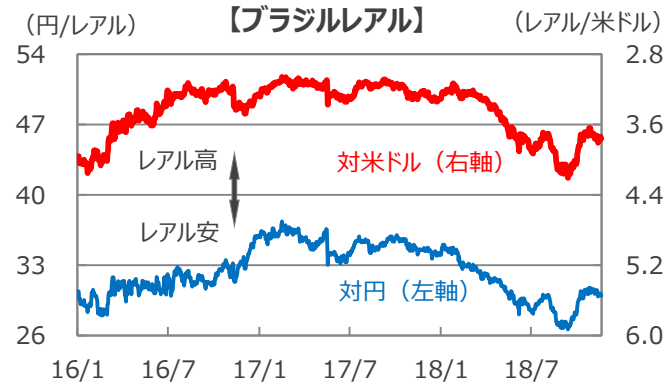
- 大統領選挙が行われた10月のブラジル株式市場は、財政規律を重視するボルソナロ氏勝利への期待から大幅高となりました。11月も、勝利したボルソナロ次期大統領の経済政策や閣僚人事への期待から堅調な展開が続いています。主要株価指数のボヘSPA指数は、上旬に過去最高値を更新しました。その後、利益確定売りが入ったものの、足元では、注目された中央銀行総裁の人事案を好感して再び過去最高値に迫っています。
- 一方、通貨レアルは、ボルソナロ氏勝利への期待から10月に大きく反発した後、11月に入り小幅ながら反落し、上昇が一服しています。



(注) データは2016年1月1日～2018年11月19日。(年/月)
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 閣僚人事などを好感 法務相や中銀総裁など

- ボルソナロ次期大統領は財政規律を重視する経済学者のパウロ・ゲジス氏を次期財務相に指名しているほか、国民的な人気が高いセルジオ・モロ判事を次期法務相へ指名しました。また、15日には民間銀行で経営幹部を務めるロベルト・カン波斯氏を中央銀行の次期総裁に指名しました。
- 株式市場は、ボルソナロ氏の打ち出した閣僚ポストの削減や人事を好感しています。



(注1) データは2016年1月1日～2018年11月19日。(年/月)
(注2) レアル/米ドルは逆目盛。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 経済政策の実現性に注目

- これまでのところ株式市場では、テメル現政権の構造改革路線を引き継ぎ、喫緊の課題である財政再建に取り組む、ボルソナロ次期大統領の経済政策への期待が続いています。今後は、経済政策の実現性が焦点となりそうです。ボルソナロ氏が率いる社会自由党は第2党に躍進したとはいえ、下院で議席が1割程度の少数与党です。テメル現政権が積み残した年金制度改革には、30もの政党が乱立する議会で、野党の協力を取り付け、多数派を形成する必要があり、議会における連立交渉や多数派工作が注目されます。

ここもチェック! 2018年11月 1日 10月のブラジル市場は堅調推移
2018年10月30日 『ブラジル大統領選挙』は極右の勝利

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。